

一般社団法人

# 昭和法人会

## 会報

'20 | 06 発刊200号特集号

## 昭和法人会 創立70周年・社団化40周年 記念

### 創立70周年(社団化40周年)を迎えて

一般社団法人 昭和法人会 会長 柴垣 信二 (日本特殊陶業株)

一般社団法人昭和法人会が創立70周年・社団化40周年を迎えるにあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

顧みますと、当会が発足した当時は、戦後の混乱した経済復興の中にあって、シャープ勧告により自主申告・自主納税制度が新たに導入され、税務行政の民主化が強く求められた時期でした。このような時代背景の中、納税者が納めなければならない税金を、自らが正しい税務知識を持ち、納税意欲を向上することによって企業の発展とともに税務行政に協力することができる団体として法人会が必要であるという機運が全国各地で高まり、当会も昭和25年4月に愛知県下4番目の法人会として発足いたしました。

以来今日まで、幅広く各種の事業活動を活発に行い、健全な納税者団体として正しい税知識の普及と納税意識の高揚に努め、申告納税制度の発展に大きな役割を果たしてまいりました。

この間、各種研修会・説明会や講演会活動のほか、法人会の共済事業として発足した「経営者総合大型保証制度」は、各方面から大反響を得るものとなるなど、その活動は現在においても多くの支持を得ているものとなっています。

また、昭和55年には社団法人に、平成25年には公益法人制度改革により一般社団法人にそれぞれ組織を変更してまいりましたが、その都度、事業目的も見直され、より公益性の高いものが求められるようになり、現在では、税知識の普及活動のほか社会貢献活動や租税教育の分野にも力を入れて活動を行っています。今後とも、「税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援するとともに、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体」を目指して活動してまいりたいと思います。

これまで70年の長きに亘り、昭和法人会の活動を応援し支えていただいた会員の皆様はもとより、歴代役員のご苦勞やご指導・ご支援いただいた関係当局には、改めて感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様のご繁栄とご健勝をお祈り申し上げ、創立70周年・社団化40周年を迎えご挨拶といたします。



### 会報誌 200号を発刊して

広報委員長 伊藤 敏宏 (ブラザー工業株)

日頃から、昭和法人会の会報誌をご愛読いただきありがとうございます。当会の会報誌は、東京オリンピックの直後の昭和39年11月に創刊されました。法人会が創立されてから14年目のことでした。以来、皆様に育てられこの特別号で発刊200号を迎えることになりました。創刊号によりますと、「この会報は、会員相互の意思の疎通と相互啓発の共通の場となり、会の目的達成をより促進するものである。」としています。発刊時には、B5横版で単色刷り(10数頁)で年4回の発行をしておりましたが、発行回数を重ね掲載内容も適時的確な情報提供を心掛け、現在ではA4縦版でフルカラー(40頁前後)となっており、発行回数は年2回となっていますが、情報量及び見やすさでも自信をもってお勧めできるものとなっています。今回、会報誌発刊200号の節目と創立70周年(社団化40周年)記念の節目がちょうど同じ時期となりましたので、この記念号を特別号として編集しお届けすることといたしました。

今後とも、会員の皆様のごニーズを的確に捉え、情報提供を図ってまいりたいと思いますので、引き続きご愛読の程よろしくお祈り申し上げます。

# History 昭和法人会のあゆみ







## 法人会の 生い立ち

戦後わが国は「民主主義国家」へと新しく生まれ変わり、法人税もそれまでの「賦課課税方式」から昭和22年4月に「申告納税制度」へと移行しました。しかし、当時の社会経済状況は極めて悪く、経営者が難解な税法を理解して、自主的に申告できるかどうか危ぶまれていました。このため「申告納税制度」の定着には納税者自身が団体を結成し、その活動を通じて帳簿の整備、税知識の普及などを図る必要性が生じ、企業の間から自発的に法人会が誕生しました。

全国各地で法人会が発足し、県単位の連合体組織が結成され、昭和29年10月には法人会の全国組織として「全国法人会総連合(全法連)」が生まれました。

このように法人会は、70年を超える歴史を有し、全国では440単位法人会があり約80万社が加入する団体です。

## 「昭和法人会」時代(昭和21年～54年)

1940 シャープ勧告を受け 申告納税制度が発足 国税庁創設	昭和21年 11月	日本最初の法人会が誕生「石巻法人協会」	
	昭和22年 4月		
	昭和23年 4月	愛知県下で初となる一宮法人会創立、小牧(S23年7月)、熱田(S24年11月)	
	昭和24年 6月		
1950	昭和25年 4月	愛知県下4番目で昭和法人会が結成される	
	昭和25年 4月	初代昭和法人会会長に吉本熊夫氏(日本碍子(株))が就任 ①	
	昭和29年 10月	愛知県法人会連合会創立(県下26会で組織)	
	昭和29年 10月	全国組織「全国法人会総連合」創立(220余団体が加盟) ②	
昭和34年 10月	第二代会長に野淵三治氏(日本碍子(株))就任 ③		
1960 東京オリンピック	昭和39年 6月	第三代会長に安井正義氏(プラザー工業(株))就任 ④	
	昭和39年 10月		
	昭和39年 11月	昭和法人会会報誌第1号創刊。改正税法説明会を開始 ⑤	
	昭和40年 6月	税法説明会及び経営講話会を開催	
	昭和42年 3月	業種別法人説明会を開始	
	昭和42年 11月	税務研修会を開始	
1970 大阪万博 札幌オリンピック 第一次オイルショック	昭和45年 3月		
	昭和46年 6月	全法連「経営者総合大型保証制度」導入 ⑥	
	昭和47年 2月		
	昭和47年 6月	税務会計(初級)研修会を開始	
	昭和48年 10月		
	昭和49年 3月	国税局調査課と所管法人との税務行政懇談会の開催	
	昭和53年 6月	婦人税務懇談会を発足	
	昭和53年 9月	税務会計研修会を初級簿記教室として開講	
	昭和54年 5月	第四代会長に小川修次氏(日本特殊陶業(株))就任 ⑦	
	昭和54年 2月	婦人税務懇談会を婦人部会結成総会を開催	
昭和54年 5月	婦人部会の創設		



②「全法連」創立総会



①初代会長 吉本熊夫氏



③第二代会長 野淵三治氏



④第三代会長 安井正義氏



⑤会報誌第1号の表紙



⑥「経営者大型保証」が  
マスコミからも注目を



⑦第四代会長 小川修次氏

## 社団法人の時代(昭和55年～平成24年)

### 1980

- 昭和55年 6月 社団化創立総会の開催(名古屋郵便貯金会館) ⑧
- 昭和55年 9月 経済講演会の開催
- 昭和56年 3月 青年部会の創設
- 昭和56年 11月 調査課所管法人部会の創設
- 昭和57年 9月 昭和58年度税制改正要望大会に参加 ⑨
- 昭和57年 11月 婦人部会5周年記念講演会
- 昭和58年 2月 市内6法人会主催による経済講演会を実施
- 昭和60年 11月 初回の役員総集会の開催、税務署長講演会の実施
- 昭和60年 11月 愛知県法人会青年部会連絡協議会結成
- 昭和61年 6月 運輸部会及び金属加工部会の業種部会を創設
- 昭和61年 8月 市内9法人会が合同講演会をスタート ⑩
- 昭和61年 9月 初回の税務初任者研修会を開催
- 昭和61年 11月 愛知県法人会婦人部会連絡協議会結成
- 昭和62年 3月 初回の青年部会拡大推進講演会
- 昭和63年 6月 愛知県法人会連合会が一般社団化創立総会
- 昭和63年 10月 婦人部会創立10周年記念式典・記念講演会
- 消費税スタート(税率3%)
- 平成元年 4月
- 平成元年 9月 愛知県青連協女連協創立5周年記念式典及び合同講演会



⑧ 社団化創立総会



⑨ 燃えた! 58年度税制改正要望大会



⑩ 34年続く市内9法人会合同講演会

### 1990

- 平成2年 5月 社団化10周年記念総会・記念講演会
- 平成2年 11月 役員総集会・記念講演会
- 平成3年 2月 青年部会創立10周年記念式典・記念コンサート
- 平成4年 3月 婦人部会 文化講座の開催(初回)コンサート[現在の講演会・演奏会の起源]
- 平成5年 1月 青年部会 拡大推進教養講座をスタート
- 平成5年 5月 第五代会長に金川重信氏(日本特殊陶業(株))就任 ⑪
- 平成5年 10月 女性部会創立15周年式典・記念行事「狂言」
- 平成6年 5月 婦人部会を女性部会に組織変更
- 日進市誕生
- 平成6年 10月
- 阪神淡路大震災
- 平成7年 1月
- 平成7年 2月 阪神淡路大震災義援金を拠出
- 平成8年 5月 青年部会創立15周年記念式典・記念講演会
- 平成8年 11月 税の啓もう活動の一環として「税のマンガ本」を管内小学校に配付
- 消費税率が5%に
- 平成9年 4月
- 平成9年 11月 ビデオ「5円玉の使い道」を作成し管内小学校に配付
- 長野オリンピック
- 平成10年 2月
- 平成10年 10月 女性部会創立20周年記念「錦繡コンサート」を愛知県芸術劇場で開催  
2,000名を超える参加者があり、昭和法人会の歴史で過去最大の行事に ⑫
- 平成11年 8月 会報誌を全ページフルカラーに
- 平成11年 12月 愛知県法人会運営研究会において「法人会活動の活性化」のテーマで研究発表



⑪ 第五代会長 金川重信氏



⑫ 錦繡コンサートの案内



⑫ 愛知県芸術劇場を埋めつくした参加者

# 2000

21世紀万博  
「愛・地球博」開催

リーマンショック

- 平成12年 5月 社団化20周年記念総会・記念講演会
- 平成12年 11月 社団化20周年記念事業として管内小学校55校に図書(1校当たり10万円)を寄贈
- 平成13年 9月 青年部会創立20周年記念・特別講演会を開催
- 平成14年 5月 昭和法人会ホームページを開設
- 平成16年 10月 女性部会創立25周年記念行事パネルディスカッションと文化講座を開催
- 平成17年 3月
- 平成17年 5月 社団化25周年記念総会・式典・記念講演会
- 平成19年 3月 女性部会文化講座を「租税教育と社会貢献」に形を変え実施
- 平成19年 10月 昭河区区民まつりに初参加。天白区クリーンキャンペーンに初参加 ⑬
- 平成19年 11月 東郷町産業まつり、ながくて町民まつりにそれぞれ初参加
- 平成19年 12月 愛知県法人会運営研究会「支部・部会活動の底上げ」のテーマで研究発表
- 平成20年 9月
- 平成20年 10月 女性部会創立30周年記念式典及び和泉流狂言記念公演会開催
- 平成20年 11月 日進市市民まつりに初参加
- 平成21年 5月 第六代会長に加藤倫朗氏(日本特殊陶業株) 就任 ⑭



⑬昭河区区民まつりに初参加



⑭第六代会長 加藤倫朗氏

# 2010

東日本大震災

長久手市誕生

- 平成22年 2月 女性部会社会貢献事業「講演会と演奏会」に変更
- 平成22年 5月 社団化30周年記念総会・記念講演会
- 平成23年 3月
- 平成23年 5月 第七代会長に松下 雋氏(日本ガイシ株) 就任 ⑮
- 平成23年 8月 初回の支部合同狂言鑑賞会を開催 ⑯
- 平成24年 1月



⑮第七代会長 松下 雋氏



⑯平成23年から続く  
支部合同狂言鑑賞会

## 一般社団法人の時代(平成25年～現在)

# 2010

消費税率が8%に

消費税に軽減税率が導入  
10%と8%の税率に  
新型コロナウイルス拡大

- 平成25年 4月 公益法人法により一般社団法人に移行
- 平成25年 5月 第八代会長に柴垣信二氏(日本特殊陶業株) 就任 ⑰
- 平成26年 4月
- 平成26年 10月 天白区区民まつりに初参加
- 平成27年 12月 青年部会 租税教室を開始 ⑱
- 平成28年 7月 女性部会 第1回税の絵はがきコンクール募集開始 ⑲
- 平成29年 12月 愛知県法人会運営研究会「原点回帰～組織・活動を総点検しさらなる飛躍へ～」のテーマで研究発表
- 平成30年 10月 女性部会創立40周年記念事業「講演会とプレミアムコンサート」開催
- 平成31年 4月 年会費を改定
- 令和元年 10月 女性部会「講演会&演奏会」 ⑳
- 令和2年 2月



⑰第八代会長 柴垣信二氏



⑱青年部会の租税教室の光景



⑲第1回絵はがきコンクール



⑳平成4年から続く女性部会の演奏会

# Message

## お祝いの言葉

### 創設70周年(社団化40周年)を祝して



昭和税務署長 近藤 龍彦氏

一般社団法人昭和法人会の創立70周年・社団化40周年に当たり、心からお祝い申し上げます。

皆様方には、日頃から税務行政の円滑な運営につきまして、深い御理解と多大な御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴会におかれましては、「税のオピニオンリーダー」として、正しい税知識の普及と納税意識の高揚を図るための各種研修会や会報誌の発行のほか、演奏会及び講演会などの社会貢献活動ならびに、次代を担う子供たちを対象とした租税教室の開催や「税に関する絵はがきコンクール」の実施など、租税教育の推進にも貢献いただいております。その結果、現在では3,300社を超える会員を擁する組織に発展されました。

これもひとえに柴垣会長をはじめとする歴代会長、役員の方々のたゆまぬご尽力と、会員の皆様方の御理解、御協力の賜物であり、ここに深く敬意を表する次第であります。

さて、最近の税務行政を取り巻く環境は、経済取引の複雑化・広域化や経済社会の国際化・高度情報化の更なる進展により大きく変化しております。このような中、私どもに与えられた使命は「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ことであり、納税者サービスの充実に努めるとともに、適正な申告を行った納税者の皆様に不公平感を与えないよう、適正公平な課税及び徴収に努めているところであります。引き続き、与えられた使命を果たしてまいりたいと存じますので、変らぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

現下の状況としては、未だ新型コロナウイルス感染症は終息には至っておらず、既に企業活動に深刻な影響が生じています。事業継続を図るため、また、我が国の経済を再生するためにも皆様の事業の活性化に御期待申し上げます。

結びに当たりまして、一般社団法人昭和法人会の更なる御発展と、会員の皆様の御健勝並びに事業のますますの御繁栄を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



愛知県名古屋南部県税事務所長

佐々木 浩克氏

昭和法人会員の皆様には、法人創立70周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

貴法人会におかれましては、長年、納税協力団体として県の税務行政に対し格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

貴法人会は、戦後の社会経済の混乱のさ中に設立され、これまで数々の経済の浮沈に遭遇しながらも、民主的な税務行政の実現だけでなく、企業の人材育成や経営戦略づくりに寄与されるなど、地域の振興に多大な成果を上げられました。これもひとえに柴垣会長はじめ歴代会長及び会員の皆様のご努力の賜物であり、深く敬意を表する次第であります。

今後とも、地域社会を支え親しまれる団体として、企業の発展と地域振興に貢献されますことをご期待申し上げます。

私ども地域行政を担う立場としましても、納税環境を整備し、適正・公平な税務行政を一層推進し、もって地域の発展に向けて努力してまいります。

貴法人会が創立70周年を機に、ますます発展されますとともに、会員の皆様のご健勝と事業のご繁栄を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



名古屋市金山市税事務所長

桜井 信寿氏

この度、一般社団法人昭和法人会が創立70周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。また、日頃より昭和法人会の皆様には、本市の税務行政はもと

より、市政全般にわたりまして、格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

貴法人会におかれましては「税のオピニオンリーダー」として、会員の皆様の積極的な自己啓発と納税意識の高揚により、企業経営及び地域社会の健全な発展に寄与されておりますことに対し、感謝と敬意を表します。

現在、わが国は新型コロナウイルス流行に伴う、経済活動の自粛により、非常に厳しい経済環境が続いています。苦しい時ではございますが、強い地域経済を取り戻すためにも貴法人会のさらなるご活躍を期待しています。

結びにあたりまして、一般社団法人昭和法人会がますます発展されますとともに、会員の皆様のご健勝と事業の繁栄を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

# Data Library

## 昭和法人会について

### ■ 昭和法人会の歴史

名称	組織	創立日
昭和法人会	任意団体	昭和25年4月1日
社団法人昭和法人会	社団法人	昭和55年6月2日
一般社団法人昭和法人会	公益法人制度改革	平成25年4月1日

### ■ 昭和法人会歴代会長名

歴代会長名	会長会社名	在任期間
吉本 熊夫	日本碍子(株)*	昭和25年 4月～昭和34年9月
野淵 三治	日本碍子(株)*	昭和34年 10月～昭和39年6月
安井 正義	ブラザー工業(株)	昭和39年 6月～昭和54年5月
小川 修次	日本特殊陶業(株)	昭和54年 5月～平成 5年5月
金川 重信	日本特殊陶業(株)	平成5年 5月～平成 21年5月
加藤 倫朗	日本特殊陶業(株)	平成21年 5月～平成 23年5月
松下 雋	日本ガイシ(株)	平成23年 5月～平成 25年5月
柴垣 信二	日本特殊陶業(株)	平成25年 5月～現在

※現 日本ガイシ(株)[昭和61年に社名表記を変更]

### ■ 昭和法人会の会員数の推移

年月	会員数
昭和 25年 4月(結成時)	資料不詳
昭和 29年 4月	174社
昭和 34年 10月	320社
昭和 39年 6月	537社
昭和 46年 6月	1,809社
昭和 55年 6月(社団化時)	3,707社
昭和 60年 5月	4,425社
平成 2年 5月	5,728社
平成 5年 5月	6,716社
平成 12年 5月	6,983社
平成 17年 5月	6,701社
平成 22年 5月(一般社団法人時)	5,283社
令和 2年 5月	3,288社

### ■ 昭和法人会事務局の所在地

住所	建物地	期間
瑞穂区須田町2-56	日本碍子(株)内	昭和 25年 4月～
瑞穂区堀田通9-35	ブラザー工業(株)内	昭和 39年 6月～
瑞穂区堀田通6-10	平塚ビル2階	昭和 50年 11月～
昭和区広見町2-14	ユタカビル4階	昭和 61年 10月～
昭和区広見町1-13-4	大栄ビル1階	平成 6年 3月～

### ■ 昭和税務署と支部の変遷

年月	出来事
昭和16年 7月	旧名古屋税務署から昭和税務署が分割され設置(昭和区桜山町)[当時の昭和区と千種区を管轄]
昭和19年 2月	昭和区と熱田区の一部が分割され瑞穂区が誕生し管轄に追加
昭和24年 6月	国税庁創設
昭和30年 4月	愛知郡天白村が昭和区に編入され管轄に追加猪高村が千種区に編入され移管
昭和38年 8月	昭和税務署が現在地(瑞穂区瑞穂町)に新築移転
昭和39年 7月	千種区を名古屋東署に移管 愛知郡日進町、東郷村、長久手村を熱田署から編入
昭和43年 6月	支部運営開始(汐路・瑞穂ヶ丘・田光・津賀田・萩山・円上・北山・桜山・川名・天白・愛知郡支部の11支部でスタート)
昭和50年 2月	旧天白村の大半を天白区として分離 梅森坂学区は名東区に移管
昭和52年 6月	川名支部から駒方支部を分割 天白区全域を天白北支部と天白南支部に分割
昭和55年 6月	愛知郡支部を東郷、日進、長久手支部に分割 地域別ブロック連絡協議会を新設(瑞穂区5支部、昭和区5支部、天白区2支部、愛知郡3支部)
昭和57年 5月	天白南支部を天白中・南天白・平針支部に分割
昭和60年 5月	桜山支部を御器所、松栄支部に分割 円上支部を白金、村雲支部に分割
平成3年 5月	天白北支部を天白北・植田・大坪支部に分割
平成31年 4月	白金・村雲を円上支部、御器所・松栄を桜山支部 川名・駒形を川名駒方支部 天白北・大坪を御幸山支部に統合し合計17支部となる

一般社団法人  
昭和法人会

〒466-0046 名古屋市昭和区広見町1-13-4 大栄ビル1F  
TEL:052-882-9677 FAX:052-882-7798  
<https://showahoujinkai.jp/>  
[showahoj@themis.ocn.ne.jp](mailto:showahoj@themis.ocn.ne.jp)

